

「地下の研究現場から」第61回 幌延深地層研究センター地下施設20年の歴史 幌延深地層研究センター職員の紹介



モグ太くん

「モグ太」です。

今回は、掘削開始から20年を迎えた地下施設の歴史を紹介させていただきます。

幌延深地層研究センターが地下施設の掘削を始めてから今年で20年を迎え、今年9月には深度500mの坑道掘削も完了しました。現在は坑道内の整備を進めています。

今回は地下施設の歴史を写真で振り返ります。

●地下施設の歴史

- ・2005.11 地下施設建設工事着手、掘削開始（写真①）
- ・2006.4 掘削土（ズリ）置場整備工事開始（写真②）
- ・2009.5 深度140m調査坑道貫通
- ・2010.6 深度250m調査坑道貫通
- ・2013.10 深度350m調査坑道貫通（写真③）
- ・2014.8 人工バリア性能確認試験 模擬オーバーパック定置（写真④）
- ・2023.9 深度500mに向け掘削開始（写真⑤）
- ・2025.9 深度500m調査坑道の掘削完了（写真⑥⑦）



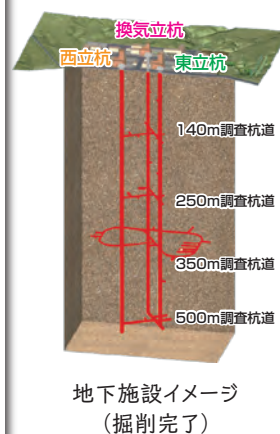
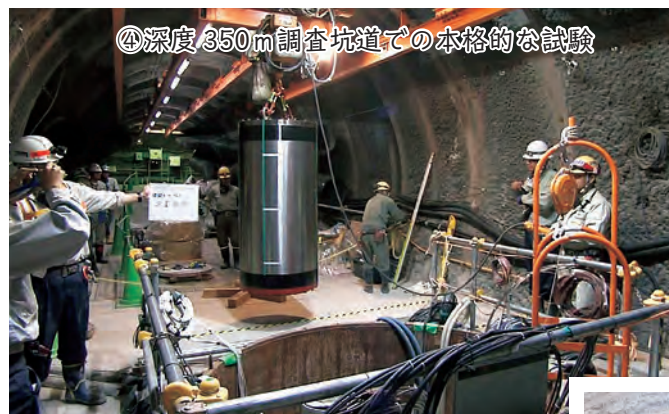
①最初の一掘り



②トナカイ観光牧場さんの向かい



③深度350m調査坑道貫通



<センター職員を紹介します！>

- 所属：総務・共生課
- 氏名：児玉 樹里（こだま じゅり）
- 幌延歴：1年目
- 業務内容：研究内容や成果をわかりやすく外部へ発信する広報・渉外
- 仕事の苦勞、喜び：社会人1年目なので、日々勉強です。イベント参加を通じて顔を覚えてもらい、他の場所でも声をかけていただくとセンター広報の一助となっていると感じます。



●幌延の印象：4月の雪に驚きました。花が好きなので、見たことのない花が咲く北海道での暮らしはとても楽しいです。

- 所属：保安・建設課
- 氏名：丸田 健人（まるた けんと）
- 幌延歴：2年目
- 業務内容：地下坑道の工事管理、研究活動に伴う環境整備、施設運転保守業務
- 仕事の苦勞、喜び：掘削工事では今まで使ったことのないトンネル工事用語が飛び交い、慣れるまで大変でした。工事管理の仕事をしているので、事故無く工事が竣工することが喜びです。
- 幌延の印象：4月でも雪が残っておりとても驚きました。今は自然が豊かでとても過ごしやすい町だなと感じています。



センター QRコード

問い合わせ先: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
幌延深地層研究センター: 電話・告知端末機: 5-2022
ゆめ地創館: 電話・告知端末機: 5-2772



ゆめ地創館QRコード